

町議会とあなたを結ぶ

# 議会だより

# しらおい、182

定例会10・12月会議号

2023年1月31日発行



(北海道コンサドーレ札幌 宮澤裕樹選手、福森晃斗選手が来町)  
サッカー少年団 Shiraoi Football Club の選手たちと交流



議会だより  
(町ホームページ)



議会フェイスブック

P 3～10 定例会12月会議 8人の議員が一般質問

P 11 令和4年出席状況 / 定例会3月会議予定

P 12～17 委員会報告 (総務文教・産業厚生・広報広聴)

P 18 定例会報告 / 編集後記

# ～ 令和4年 定例会 12月会議 一般質問 ～

|   |  |
|---|--|
| <b>大 淵 紀 夫 議員</b> 3ページ<br>① 社会教育について<br>② 財政について<br>③ 介護人材不足の対応について | <b>佐 藤 雄 大 議員</b> 7ページ<br>① 子どものためのまちづくりについて       |
| <b>前 田 博 之 議員</b> 4ページ<br>① 町政運営について<br>② 白老町公共施設等総合管理について          | <b>久 保 一 美 議員</b> 8ページ<br>① 本町における水産資源の現状と課題について   |
| <b>森 哲 也 議員</b> 5ページ<br>① 権利擁護について                                  | <b>及 川 保 議員</b> 9ページ<br>① 産業振興について<br>② 地域公共交通について |
| <b>長 谷 川 か お り 議員</b> 6ページ<br>① 子育て支援の充実について                        | <b>小 西 秀 延 議員</b> 10ページ<br>① 町政全般について              |
| * 質問時間は1人45分以内 (答弁の時間を含まない)<br>* 一問一答方式 (時間内で何度でも再質問が可能)            |  |

## ■ 議会のひびき ■

### ■ 定例会・委員会等

#### 【9月】

21日 政策研究会  
 28日 議会懇談会（北海道栄高校）  
 29日 議会懇談会（白老東高校）

#### 【10月】

5日 政策研究会  
 12日 広報広聴小委員会  
 17日 議会運営委員会  
 19日 産業厚生常任委員会  
 26日 政策研究会  
 27日 議案説明会  
 議会運営委員会  
 総務文教常任委員会  
 31日 定例会10月会議  
 全員協議会

#### 【11月】

2日 産業厚生分科会  
 7～10日 産業厚生常任委員会道外視察  
 14～17日 総務文教常任委員会道外視察  
 18日 議会運営委員会  
 全員協議会  
 21日 広報広聴小委員会  
 総務文教委員会協議会  
 政策研究会  
 22日 総務文教常任委員会  
 29日 総務文教分科会

#### 【12月】

2日 会派代表者会議  
 議会運営委員会  
 28日 広報広聴小委員会  
 6日 総務文教常任委員会  
 9日 議案説明会  
 9日 広報広聴常任委員会  
 議会運営委員会  
 産業厚生常任委員会  
 13～19日 定例会12月会議  
 14日 産業厚生常任委員会  
 16日 議会運営委員会

### ■ 研修・視察対応

28日 栗山町議会  
 5日 積丹町議会  
 御船町議会  
 19日 岩手県北部地区町村議会  
 議長会  
 20日 宮崎県議会  
 豊富町議会  
 25日 胆振管内町議会議員研修会  
 1日 いわき市議会



大淵紀夫議員

### 問 人口減少のなか社会教育団体の一元化が必要では

### 答 第3次社会教育中期計画期間内に一定の方向性を示したい

**問** 社会教育施設の改修計画の具体化と総合計画との整合性は

**教育長** 今後、町が策定する白老町公共施設適正配置計画で示される各施設の方向性を念頭に、実行計画を定める必要がある。

**問** 指定管理者制度における行政指導の範囲は

**教育長** 白老町の施設に係る事務処理要領に基づき、管理業務や経理の状況に関して実地に調査し報告を求め、必要な指示をすることになっている。

**問** 社会教育団体の一元化について、人口減少を見据えた、見える指導と組織化の考え方は

**教育長** 社会教育施設の集約のみならず、組織運営についても将来人口を見据えた再編や統合などの見直しを要するとの認識から、課題の把握と相互に有益性が実感できる組織の在り方が必要だと捉えている。第3次白老町社会教育中期計画の期間内に一定の方向性を示したい。



資金不足が見込まれる町立病院

**問** 仙台藩白老元陣屋の北海道遺産指定について、陣屋資料館とアイヌ民族との関わりは

**教育長** 白老のアイヌ民族は、道内の他地域に比べ古くから和人の共生の歴史があり、警衛地の治安維持のため貴重な労働力として雇用され、対価が支払われていたと伝えられている。本史跡を次世代へ継承し、正しく発信する取組が必要である。

### 問 町立病院の経営状況は

### 答 1億5千万円の資金不足見込み

**問** 現在までの収支状況での大きな変動と、交付税及びふるさと納税の見通しは

**町長** 町税7000万円、普通交付税6697万円、ふるさと納税は11月末の前年度比で1億3300万円の増加。歳出は、病院会計資金不足分8000万円の追加繰入金と電気代高騰に伴う各施設の光熱水費増嵩分2900万円が大きなものである。

**問** 町立病院及び介護老人保健施設の経営状況は

**町長** 町立病院は11月末の前年度比で入院291名、外来790名の増となっているが、純損失が7500万円発生する見込み。介護老人保健施設は3050万円の赤字となる見込み。

## 公共施設

**問** 児童公園の使用不可遊具と使用可能な遊具の比率は

**答** 使用できない遊具は約63%、使用可能な遊具は37%である



前田博之議員

**問** 役場庁舎建設に向けた基本計画策定の進捗状況とその概要及び財源手当ては

**町長** 年度内の策定に向け、役場内に庁舎建設等検討委員会を設置し、町民アンケートや職員の意見・要望を基に協議を進めている。現状では、本庁舎と白老コミセン庁舎、いきいき4♥6庁舎を統合して防災拠点とし、多目的ホールの併設を予定している。財源は、令和7年度が期限の「緊急防災・減災事業債」を活用する。

**問** 町内の公園の総数と種別ごとの設置数は

**町長** 都市公園数は街区公園（児童公園）が24か所、運動公園等が6か所の計30か所である。  
**問** 公園の80%は子供たちが身近に遊ぶ児童公園である。私はほとんどの公園をつぶさに点検してきた。遊具等は使用禁止の立札とブルーシートに覆われた痛ましい光景となっている。児童公園24か所の遊具総数と使用

不可率及び使用可能率は

**答** 遊具総数83か所のうち、遊具の使用不可率は62・7%、使用可能率は37・3%である。

**問** 遊具などを使用禁止等にするための判定基準の根拠は何か

**答** 国交省等の指針を判定基準として点検している

**問** 平成29年策定の公共施設等総合管理計画、公園施設方針では、「施設（公園）の集約や撤去等により管理の負担を軽減させ

ることも含めて、計画の策定において考慮しなければならない」とあるが、改修実施計画策定は

**町長** 令和2年度に見直しを行った公園施設長寿命化計画が改修実施計画に該当する。

**問** 公園は30か所あるが、計画で集約や撤去等を予定している公園は狙上についているのか

**答** 今のところ集約や撤去等の考えはない。

**問** 公園は子供たちが伸び伸びと遊べる貴重な場所である。運動神経や体力向上、想像力や社会性の発達等も期待できるなど、子供たちの心身の成長に欠かせない場所でもある。公園整備は喫緊の課題である。補助金・交付金の有無に関わらず自主財源を確保し、確実、的確に継続的に公園整備事業を実施するべきでは

**町長** 利用者が安心して楽しむことができる憩いの場となる公園を目指し、施設整備を進める。



遊具が使用禁止となっている公園

問 虐待防止の対策を強化していくべき



森 哲也議員

答 全ての虐待をなくすため、調査、勉強し、意識共有していく

問 成年後見センター設置の進捗状況は

町長 令和5年4月のセンター設置に向けて、北海道社会福祉協議会の成年後見制度推進バックアップセンターの協力も得ながら、法曹専門職を交えた準備会の開催や要綱の制定などの作業を進めている。

問 市民後見人養成の状況と課題は

町長 市民後見人の養成としては、苫小牧成年後見センター主催の研修に参加いただいている状況。課題としては、成年後見センターがまだ未設置のため市民後見人として登録できず、活動機会が限られていること、養成研修参加者が少ないことである。

問 虐待の通報件数は

町長 令和3年度及び4年度の虐待相談件数は総計で施設関係では高齢者1件、障がい者2件であり、そのうち認定件数は高齢者施設1件である。

在宅については、障がい者の事案はなく、高齢者の相談件数が28件であり、そのうち認定件数は16件である。

問 虐待防止のための推進策は

町長 高齢者介護課及び健康福祉課に虐待相談対応窓口を設置し、虐待対応を行っている。

また、町民向けには、広報誌、ポスター掲示などによる啓発を行い、虐待防止についての正しい理解促進に努めている。

問 介護老人保健施設きたこぶしでの虐待は、施設として再発防止策を徹底していくことが重要である。

また、在宅で虐待認定を受けている方もおり、町全体としても虐待防止策の強化をしていくべきでは

副町長 介護老人保健施設きたこぶしでの虐待は、公の施設を管理する者として、様々な観点から監督、指導をしていく。今回の事案を風化させないためにも、教訓として町内の施設と情報を共有していく。

問 町として虐待防止の強化をしていく姿勢を示すべきである。虐待防止の条例を制定し、対策を強化していくべきでは

副町長 高齢者・障がい者・児童を含む全ての虐待をなくすため、十分調査、勉強し、関係者間で意識共有していく。



虐待相談窓口を設置しているいきいき4♥6

## 問 出産・子育て応援交付金事業 の取組は

## 答 国と連携しながら手を上げていく



長谷川かおり 議員

**問** 安心して産み育てられる切れ目のない妊娠、出産、子育て期での支援の状況は

**町長** 妊娠期には母子手帳交付時の面談、妊婦訪問や妊婦健診、保健・栄養相談を行い、出産後は定期的な乳児健診・相談を実施。母親のメンタル不調、産後うつ予防や早期発見にも努めている。

子育て期には、相談窓口や各機関の活動を通して必要な支援のニーズを把握し、各種サービスの利用へとつなげている。

**問** 産後うつ事業の取組は

**答弁** 産後1年以内の母子を対象に、発育・発達の確認と育児不安解消のため、保健師が可能な限り生後2か月以内に訪問し、健やかな育児を支援している。

**問** 妊娠出産相談窓口の取組は

**答弁** 子育て世代包括支援センターで、妊産婦や乳幼児、その保護者を対象に電話やメール、来所、訪問等を実施。相談内容によって利用者支援専門員、保

健師、栄養士が対応している。

**問** 具体的な相談内容は

**答弁** 令和3年度は、育児不安、疲れ、経済面、若年の妊娠・出産等親に関する相談が49件、発達、入園等子供に関する相談が24件あった。

**問** オンライン相談を気軽に活用してもらうための周知の工夫は

**答弁** 利用受付体制を整え、ホームページ上の表記もわかりやすくするよう検討していく。



切れ目のない子育て支援が求められている

**問** 国が創設した「出産・子育て応援交付金」で示された妊産婦に対する合計10万円の経済的支援への考えは

**町長** 今後国から示される交付要綱及び実施要綱等を精査し、本町での実施について検討する。

**問** 伴走型相談支援と経済的支援を一体化することで期待できる効果は

**答弁** 妊婦や子育て家庭が伴走型相談支援を受けるなかで必要な支援サービスを具体的に相談・調整することができ、必要な支援が確実に届き、実効性が高まることが期待される。

**問** 今ある仕組みを生かしながらさらに充実させ、永続的に進めていく事業であると思うが町長の考えは

**町長** 子育て支援の充実を図り、国と連携しながら手を挙げていくべきと捉えている。

## 問 公園の早急な整備が必要だと考えるが

## 答 各地区の公園に遊べる遊具を増やしていきたい



佐藤雄大議員

問 子ども医療費助成における窓口支払いについて、町民負担を軽減するための取扱いは

町長 現在は、保護者等が領収書を持参や郵送し申請を行い、後日指定口座へ医療費を支給している。未申請の方もいるため、医療給付実績等を参考に一部記入済の申請書を郵送する等、負担軽減や制度周知を図っている。

問 窓口支払いの現物支給、18歳までの医療費無償化の見解は

答弁 制度の周知を含めて子育て世代の負担軽減を検討していきたい。

問 一般的な遊具の撤去解体費用及び新設の際の費用、公園の維持にかかる費用は

答弁 滑り台の新設費用は240万円、撤去は8万円。二人用ブランコはそれぞれ170万円と10万円。維持費は草刈等を行い、年間約25万円程度である。

問 公園は、長寿命化計画の中で10年をかけて数か所ずつ整備

していくと認識している。しかし、今公園で遊びたい子供たちは大きくなってしまふ。まずは各地区それぞれ一つの公園、遊具の整備が早急に必要だと考えるが

答弁 アンケート結果を反映し、まずは各地区の主要な公園の遊べる遊具を増やしていきたい。令和5年度は、ブランコから整備していきたいと考えている。



プロのアーティスト等本物に触れる機会を

問 プロのアスリートやアーティスト等本物に触れる機会の増加が、子供たちの可能性を広げることにつながると考えるが

答弁 現在あるプロスポーツチームとの包括連携協定やプロフェッショナル講演会など子供たちの成長の一翼を担えるよう取組を進めていきたい。

問 多くの機会を提供することで、一つでも好きなこと、得意なことが見つかるまちにすべきである。人材育成、未来への投資にもつながると考えるが見解は

教育長 子供たちにとって学校だけが学びの場ではなく、地域全体が学びの場であり、本町の様々な資源を活用しながら学びを展開していくことで、郷土愛も育まれていくと考えている。今実施している取組も含めてさらなる充実を図っていきたい。

# 問 低利用魚の食育活用の考えは



久保一美議員

## 答 地場産品をたくさん活用していきたい

問 昨年、赤潮の影響を受けたサケの具体的な漁獲量は

答弁 平成27年度1817トン、金額9億9000万円に対して、令和3年度155トン、金額1億4500万円。令和4年11月末時点で334トン、金額2億8600万円である。

問 北海道全体の状況は

答弁 平成28年との比較では、後志管内340・5%、松山管内480%、胆振管内61%、日高管内63%、渡島管内70%である。

問 人工ふ化されたサケの稚魚は生命力が弱いと聞くが対策は

答弁 本町にあるふ化場の例として、個々の魚体を確認しながら放流時期を見極め、生存率や遊泳力の強化対策をしている。

問 現在、漁獲量が増えている魚種の状況と課題は

答弁 ブリ類、マダラ、ホッケなどの漁獲量が大きく伸びている。特にブリ類は令和3年で数量187トン、金額は

1400万円となり、平成27年との比較では数量で1543%、金額で410%増加しているが、漁獲が安定していないこと、サ

イズが不安定で小物が多いこと、食文化がなく消費拡大が進まないことなどが課題となっている。

問 消費拡大が進むよう、より

一層の努力が必要と考えるが

答弁 北海道ではフェアの開催やレシピ動画作成等に取り組んでいる。いぶり中央漁業協同組



低利用魚を食育として活用を

合も市場の開拓など魚価単価向上に取り組み、成果がでてい

問 練り物などの商品開発で、低利用魚の単価向上を図る必要性があると考えるが

答弁 利用の少ない魚種のすり身加工は、非常に有用な取組と認識しているが、近隣に継続的に練り物を作る工場がない。

問 低利用魚を食育として活用する考えは

答弁 子供たちも地元食材に触れ、ふるさとへの愛着につながる取組の一つだと認識している。給食などに地場産品をたくさん活用して進めていきたい。

問 資源の枯渇を防ぐためにも水産資源の最大限の活用が必要と考えるが

副町長 漁業者が元気になるために、これまで取り組んできた対策を継続し、新たな発想や事業展開も検討しながら、いぶり中央漁業協同組合と連携して支援対策に取り組んでいきたい。





及川 保議員

## 問 漁港区の狭隘問題と 屋根付き岸壁の解決は

## 答 国と協議中であり 継続して取り組む

問 長引くコロナ禍とウクライナ情勢が地域経済や町民生活に大きな打撃を与えているが、農業、漁業への影響は

町長 農業は、飼養頭数は微増しており、素牛や枝肉の価格はコロナ以前の水準まで回復しているが、肥料や飼料、燃料の高騰で経費が増加し、経営は厳しい。水産業は、秋サケなどの資源は回復傾向だが、燃料の高騰で漁家経営は厳しい。引き続き関係機関と協議し経営の安定を図る。

問 懸案の漁港区の狭隘問題と、屋根付き岸壁は重要な問題だ。

早期に解決する考えは

答 弁 国と協議中であり、実現に向け今後も継続して取り組む。問 ウポポイが開設して約2年半、商工・観光業の現状は

町長 各事業者の経営は大変厳しいと捉えており、事業の継続や拡大を目的に、国の交付金を活用して給付金や補助金などの支援事業を展開してきた。観光

業は、入込客数は増加しており、引き続き誘客活動を進めていく。

問 白老駅の特急列車利用状況と、利用される工夫が必要では

答 弁 自家用車での観光客が多く、町の活性化につながっていない。JRと連携して取り組む。

問 道の駅に前向きな答弁がありながら、動きが見えないが

町長 道の駅は地元経済や町内の活性化に寄与すると考えており、引き続き調査検討を進める。



町民の足として必要不可欠な「元気号」

## 問 地域公共交通の 在り方と今後の取組は

## 答 町民の移動手段の 確保・充実に努める

問 町民の足となる地域公共交通は、高齢化がさらに進む中で必要不可欠な移動手段である。

本町特有の地域公共交通の在り方と将来を見据えた取組は

町長 元気号とカムイ号は町民の足として運行しており、「カムイ号」は、特に高齢者の移動手段として需要が高まっている。また、「ぐるぼん」は観光客の二次交通として運行している。3種類の公共交通を町民ニーズの把握と利便性向上を図りつつ、町内の移動手段の確保と充実に努めていく。

## 町政運営

**問** 町長就任以来、昨年までに削減した  
地方債（借金）の額は

**答** 平成23年度から令和3年度までで  
123億円削減



小西秀延議員

**問** 町長が就任された平成23年度と令和3年度の地方債残高（借金）と財政調整基金（預金）の差額は

**答** 地方債残高（借金）の減少は123億円。財政調整基金（預金）の増額は10億円である。

**問** ウポポイ誘致で町民の生活上の利便性や経済波及効果をどのように捉えているか

**答** 経済効果は町の創業支援等もあり、新規創業が相次ぎ、大手ホテルの進出もあった。「おもてなしガイドセンター」といった町民の自主的な活動もみられた。また、長年の要望・課題であった国道の4車線化、

駅自由通路にエレベーターの設置、特急列車35本の停車にも至り公共交通の利便性も向上した。

**問** 新型コロナウイルス感染症の拡大で低迷する経済の中、コロナ支援金融資の返済も一部開始され、事業者の廃業・倒産も多く予想される。アンケート等

でそのような業態を捉え、国道等と連携し、融資計画の見直しや支援策を検討すべきでは

**答** アンケートでは、数字的に厳しい状況を捉えている。物価高騰も約8割の業者が影響を受けていると回答し、国や道と連携し対応できるよう、町から声を上げていきたい。



令和2年7月 民族共生象徴空間ウポポイオープン

**問** これまで子供の知・徳・体に配慮した事業を立案してきたがその事業を通じて子供の成長をどのよう

**答** 地域塾を発端にクラブ活動・しらおい寺子屋・ふるさと教育などを展開し、子供の心の広がりや知・徳・体バランスの良い成長に繋げてきた。また、子ども憲章を制定し、まちづくりに関心を持ち、思いやりある子供に成長してきた実感がある。

**問** 公共交通で児童生徒の通学にも目を向けて展開されては

**答** 朝の通学の時間帯に運行したが、効果が明確ではなかった。課題として検討していきたい。

**問** これまでの町長としての職責についての思いは

**町長** 「まちづくりは人づくりから」という考えから、町長になる前から教育が社会全体の柱であるという思いでやってきた。任期途中になるのは大変申し訳ないが、白老町が発展できるよ

う、新たなステージに挑戦し頑張りたい。

# 令和4年 定例会及び各委員会 出席状況

昨年1年間（1月～12月）の定例会及び各委員会の出席状況についてお知らせいたします。

| 会議名                   |                          | 議員数 | 開催数 | 久保<br>一美 | 広地<br>紀彰 | 佐藤<br>雄大 | 貳又<br>聖規 | 西田<br>祐子 | 前田<br>博之 | 森<br>哲也 | 大淵<br>紀夫 | 吉谷<br>一孝 | 小西<br>秀延 | 及川<br>保 | 長谷川<br>かおり | 氏家<br>裕治 | 松田<br>謙吾 |
|-----------------------|--------------------------|-----|-----|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|---------|------------|----------|----------|
| 定 例 会                 |                          | 14  | 25  | 25       | 21       | 25       | 24       | 25       | 25       | 25      | 25       | 25       | 25       | 25      | 25         | 25       | 25       |
| 議 会 運 営 委 員 会         |                          | 6   | 30  | (1)      | (1)      | (1)      | (3)      | (3)      | 27       | 28      | (3)      | 30       | 29       | 28      | 30         | (26)     | (26)     |
| 常<br>任<br>委<br>員<br>会 | 総務文教常任委員会                | 6   | 6   | —        | —        | 6        | —        | —        | 5        | —       | 6        | 6        | 6        | —       | —          | 5        | —        |
|                       | 総務文教分科会                  | 6   | 2   | —        | —        | 2        | —        | —        | 2        | —       | 2        | 2        | 2        | —       | —          | 2        | —        |
|                       | 産業厚生常任委員会                | 7   | 10  | 10       | 10       | —        | 9        | 10       | —        | 10      | —        | —        | —        | 7       | 8          | —        | —        |
|                       | 産業厚生分科会                  | 7   | 2   | 1        | 2        | —        | 2        | 2        | —        | 2       | —        | —        | —        | 2       | 1          | —        | —        |
|                       | 広報広聴常任委員会                | 13  | 4   | 4        | 4        | 4        | 4        | 4        | 3        | 3       | 4        | 4        | 4        | 4       | 4          | 4        | (1)      |
|                       | 広報広聴小委員会                 | 7   | 15  | 14       | 14       | 15       | 14       | 15       | —        | —       | 15       | —        | —        | —       | —          | 13       | —        |
| 協<br>議<br>会           | 全 員 協 議 会                | 14  | 11  | 11       | 10       | 11       | 11       | 11       | 10       | 10      | 11       | 11       | 11       | 10      | 11         | 11       | 11       |
|                       | 議 案 説 明 会                | 14  | 9   | 9        | 9        | 9        | 9        | 9        | 9        | 8       | 9        | 9        | 9        | 9       | 9          | 9        | 8        |
|                       | 総務文教協議会                  | 6   | 5   | —        | —        | 5        | —        | —        | 5        | —       | 5        | 5        | 5        | —       | —          | 5        | —        |
|                       | 産業厚生協議会                  | 7   | 2   | 2        | 2        | —        | 2        | 2        | —        | 2       | —        | —        | —        | 2       | 2          | —        | —        |
| 特<br>別<br>委<br>員<br>会 | 予算等審査特別委員会               | 13  | 3   | 3        | 3        | 3        | 3        | 3        | 2        | 3       | 3        | 3        | 3        | 3       | 3          | 3        | (3)      |
|                       | 決算審査特別委員会                | 12  | 3   | 3        | 3        | 3        | 3        | 3        | 3        | 3       | 3        | 3        | 3        | [3]     | 3          | 3        | (3)      |
|                       | 駅北地区観光商業ゾーン整備・活性化促進特別委員会 | 13  | 1   | 1        | 1        | 1        | 1        | 1        | 1        | 1       | 1        | 1        | 1        | 1       | 1          | 1        | (1)      |
| 政 策 研 究 会             |                          | 8   | 20  | 18       | —        | 19       | 17       | 7        | —        | 16      | 20       | —        | —        | —       | 19         | 20       | —        |

## 記号の表記

— : 委員会に所属していない議員

( ) : 委員会に所属していないが、委員外議員として出席した議員

## 議会選出監査委員

決算審査特別委員会では、及川議員は監査委員として出席しているため、〔 〕書きとしています。

## 議長の出席

議長は委員会の構成員ではありませんが、全ての委員会に出席し発言することが法律で認められています。

## 定例会3月会議の予定

■日時 3月は定例会及び予算等審査特別委員会を予定していますが、日程は決定していません。日程が決定しましたら、議会ホームページ、町広報3月号等でお知らせします。

■会場 議会議事堂（役場2階）

■問い合わせ 議会事務局 TEL 82-6620

## 議会傍聴のお知らせ

感染症拡大防止のため、傍聴は自粛をお願いしています。インターネットで議会中継を配信していますので、利用可能な方はこちらを御利用ください。

なお、傍聴される場合はマスクを着用し、傍聴席は間隔を空けてご利用ください。

## 委員会レポート

各常任委員会は所管事務調査を行い、その結果を定例会12月会議で報告した。

### 総務文教常任委員会

(1) 総務文教常任委員会  
所管事務調査

町内小中学校の教育環境

#### 【委員会意見】

本委員会は、町内小中学校の教育環境について担当課から説明を受け、現状と課題、対策を把握し、今後の在り方を検討した。児童生徒数は出生率等の想定で減少傾向にあり、今後も各学校での学習面や生活面における学校運営全般で検証が急務であると捉える。

部活動については、児童生徒の減少により部活動の維持存続



が困難となっており、「部活動の地域移行」に向けた施策など効果的な活動の推進が必要である。また、町外でのクラブ活動に参加する実態調査や対応策も必要であり、さらには貧困等を理由に部活動に参加できないという児童生徒の支援も検討すべきである。

経済的支援については、依然として要保護・準要保護の認定率の割合が高く、引き続き就学

援助制度の充実や給食費の無償化、高校進学への支援等、支援の必要な家庭へのさらなる対策が必要であり、認定基準率についても近隣自治体で導入している基準率を1・5に引き上げることも検討すべきである。

また、各学校は災害時における緊急避難所として位置づけられており、地域の防災拠点として必要な備蓄品等を充実すべきである。

教育環境の充実を図る政策は、地方創生においても重要な位置づけであることから、町外からの移住定住を希望する子育て中の方々にとっても不可欠であり、本町の人口減少対策においても結婚、出産、子育て、教育の面的な施策を推進すべきである。

これまでの意見の政策化にあたっては、引き続き実態調査、方針決定、政策の遂行を組織的かつ効率的・効果的に展開されることを強く望むものである。



(2) 総務文教分科会

【萩野小学校・白翔中学校校長との懇談】

懇談を通して、改修を含め、子供たちの学習環境が充実していることを再確認した。今後さらなる学習環境の充実に加え、安全性を確保した通学路やその他の施設整備が必要である。

クラブ活動や部活動等、世代間交流、地域交流の機会の創出・拡大を図り、地域と連携し、子供たち一人ひとりの可能性を広げていくことが重要であるとの認識が深まる有意義な懇談だった。

# 産業厚生常任委員会

(1) 常任委員会

所管事務調査

集中豪雨等の災害時水害対策

【水害発生状況と対策】

白老町は様々な地形条件から雨雲が発達しやすく、年間降水量は千五百ミリと道内でも有数の集中豪雨地帯となっている。

町では主に準用河川や普通河川を管理し、災害を未然に防ぐために河川・排水路などの治水事業を実施している。日常的に道路・河川・排水路等の異常の有無の確認のほか、台風の接近時には災害パトロールを実施し、被害拡大の未然防止に努めている。各パトロール班はスマートフォンアプリを通じて現地状況や写真、動画を相互連絡体制により共有し、警報発令時には防災・交通室を加えた情報共有体制となっている。

【委員会意見】

第1に、防災設備の維持更新の徹底に努めるべきである。近年整備された石山地区河川の水位監視システムを視察したが、こうした設備の充実が災害対応の迅速化及び効率化に資する点やパトロール対応員の安全性へ寄与できる点が見受けられ評価する一方、樋門の老朽化や排水路矢板の腐食・土砂流入による流速確保不足など、設備の維持



更新が喫緊の課題となっている点も見受けられる。町民の生命財産を水害から守るという使命感に立脚し、維持充実の重点化を進めながら、防災関連事業費の確保に努められたい。

第2に、町民に対する、より充実した情報提供を行うべきである。北海道の事業をとおしてインターネット上で町内主要河川の状況が随時監視できる体制の整備が進んでいる状況は理解できる一方、こうした情報提供が町民に図られることこそ町民の安心に資すると考える。防災・交通室とも連携し、町内の水害危機に関する情報提供のありようを一層充実すべきである。

休日にも当番で災害発生に備え待機、日常パトロール、水害の原因となりうる箇所の調査など、平時の備えに対する尽力を評価する一方、町民からの情報提供体制の構築に努め、更なる水害防止体制の充実に努められたい。

(2) 分科会

【特定非営利活動法人NPOウテカンパとの懇談】

ウテカンパの活動にコミュニティナースが加わることで、介護保険サービスの隙間を埋めるだけではなく、高齢者の介護予防と社会参加の促進を目指し、安心して生活できる地域社会の実現に大きく貢献されている。この活動は、重要な役割を担うと考えさせられる懇談であった。



# 議会議員と高校生との懇談会 白老の未来を考える

広報広聴常任委員会は、「白老の未来を考える」をテーマに、北海道白老東高等学校、北海道栄高等学校の生徒の皆さんと懇談会を開催しました。コロナ禍により3年間開催を見送ってきた議会懇談会。従来の懇談会と形式は違いますが、高校生の皆さんが日頃感じていること、提案したいことを話してくれました。

皆さんが話してくれた、白老を紹介します。

◀ 9月29日 北海道白老東高校 ▶



## 〔Aグループ〕

- ▶ 町の公共交通は通学に使える時間帯がない。学生目線での時間設定を
- ▶ ペット同伴で遊べる公園は憩いの場になる
- ▶ 将来は白老町に貢献したいので、勉強し準備を進めている
- ▶ 学生が気軽に立ち寄れる場所があれば、活気がでて賑やかになるのでは
- ▶ もっと白老の自然や環境などの魅力をPRできれば定住に繋がるのでは
- ▶ 議会の仕事やまちづくりの知識がなく、情報を得る機会をつくってもらえたら



ほしがみりか  
干上 莉加さん(3年生)  
くろだらいは  
黒田 来羽さん(3年生)  
すがたきょう  
菅田 響さん(2年生)

〔Bグループ〕

- ▶ 白老町のメインはウポポイというイメージが強いが、白老牛、たらこ、たまご、野菜など特産品も多いので、もっとアピールすると良い
- ▶ 白老はおじいちゃん、おばあちゃんが多く仲が良い。野菜をくれる人がいて、野菜が好きになった。道で会ったら笑顔で挨拶してくれてすごく好き
- ▶ 人の温かみを感じられるところとおいしい特産品が白老の魅力
- ▶ 道が暗い。冬は道が凍り足元が危ないので明るくしてほしい



まきの きら 牧野 光さん(3年生) さくらい りんか 櫻井 凜佳さん(3年生)  
わたなべ りお 渡辺 莉央さん(2年生) さとう まさと 佐藤 将斗さん(2年生)

〔Cグループ〕

- ▶ 役場や公共施設のトイレにベビーベッドやシートが必要だと家族と話している。男性しかいないときもあるので、男性用トイレにも必要ではないか
- ▶ 放課後の待ち時間は、駅や駅周辺のベンチで過ごすこともあるが、ほとんど学校に残って勉強している。町なかに自習スペースや自由に過ごせる場所があればいいと思う
- ▶ 公園の遊具にロープが張られていて、遊べないのかわいそう。子供たちのために整備して



はやし げんき 林 元氣さん(3年生)  
わたなべ かのん 渡邊 花音さん(2年生)  
みかみ まり 三上 麻里さん(2年生)



後列左から 黒田さん 佐藤さん 牧野さん 林さん 菅田さん  
前列左から 三上さん 渡邊さん 干上さん 櫻井さん 渡辺さん

北海道白老東高校 三橋 孝臣 教頭

議会議員の皆さんと懇談する機会をいただき、自分たちの意見を真摯に受け止めていただけたことは、生徒たちにとって良い機会でした。

物おじせず積極的に意見を述べる姿に、我々教員も「思っていることをこんなにしっかり話せるのだ。」と感心しましたし、生徒たちも大きな自信を持てたようです。ありがとうございました。

# ◀ 9月28日 北海道栄高校 ▶



- ▶夜に買い物に行くと、外灯が少なく危険を感じる。
- ▶白老は温泉が多いので、観光客や町民用の足湯などがあれば良い。

あつみ まさと  
熱海 允一さん(3年生)



- ▶白老駅でICカード（キタカ・スイカ）が使えると学生も観光客も便利。
- ▶白老のおすすめの場所をインスタグラムなどで発信しては。

ほそかわ あんな  
細川 杏奈さん(3年生)

- ▶成人式に書道部として作品を展示できてうれしかった。
- ▶ボランティアをしたい学生は多い。おまつりやイベントと一緒に活動できれば地域貢献にもなる。



しろかわ ゆいか  
城川 唯花さん(3年生)

- ▶砂浜に海洋ごみが多く景観を損ねている。ごみ拾い運動を実施しては。
- ▶外国人が来ると文化や価値観、人種等を問わず多文化共生の町となるのでは。



いそざき まさよし  
磯崎 大義さん(3年生)





▶父の年代は白老に残っている人も多いが、今は就職や進学で白老を離れ、卒業後も戻ってこない人が多い。出ていかない、戻ってきたいと思える何かが必要では。

にしむら れん  
西村 蓮さん(2年生)



▶若い人が楽しめる所が少ない。若い人が楽しめる場所を。  
▶改めて自分のことについて考えるようになった。これからの生活の中で自分ができたいことを考えたい。

たかはし はな  
高橋 花さん(1年生)

▶町のイベントにダンス部で参加したことがある。今後も白老の方と交流していきたい。  
▶しらおいファンクラブを高校生に知ってもらおうと良いのでは。



すずき りこ  
鈴木 梨心さん(2年生)

▶まちに外国人が多くなると英語を話す機会が増えるので、英語教育に力を入れることで家族連れや若い人が移住してくるのでは。



おざわ かな  
小澤 栞奈さん(1年生)

北海道栄高校 田代 真秀 教頭

今回はこのような場を設けていただきありがとうございました。

予想以上に多くの意見が出され、生徒たちにとって有意義な懇談会であったと感じています。

今後、高校生の若い力や思いが、白老町発展の一助となれば幸いです。

▶小学校のグラウンドの遊具が壊れて使えない。家で遊んでいる小さい子や小中学生のために公園や新しい遊具を増やしてほしい。



たに ここあ  
谷 心愛さん(1年生)

平成28年度に選挙権を18歳に引き下げる法改正が行われ、議会を知ってもらうきっかけになればとの思いを込めて懇談会のお願いをいたしました。両校の学校長はじめ教職員のご協力により、事前に議会の仕組みなどの紹介やアンケート調査を実施し、高校生の皆さんと懇談できたことに感謝いたします。

広報広聴常任委員会



# 定例会10月・12月会議報告

（議決結果をお知らせします）

## 条例

### ◎定例会12月会議

▼職員給与に関する条例及び白老町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定

▼特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定

▼議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定

▼地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

▼特別職の職員で常勤のもの給与の減額に関する条例の制定（反対・貳又議員）

## 予算

### ◎定例会10月会議

▼一般会計補正予算（第8号）

### ◎定例会12月会議

▼一般会計補正予算（第9号）

▼国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）

▼介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

▼水道事業会計補正予算（第1号）

▼町立国民健康保険病院事業会計補正予算（第2号）

## 人事

### ◎定例会12月会議

▼人権擁護委員の推薦意見（適任）

・新谷 育子 氏（50歳・石山）

・山田 和子 氏（64歳・東町）

## 報告

### ◎定例会10月会議

▼専決処分報告（一般会計補正予算（第7号））

▼専決処分の報告（工事請負契約の金額の変更）

▼専決処分の報告（損害賠償の額の決定）

◎定例会12月会議

▼専決処分の報告（工事請負契約の金額の変更）

▼定期監査の結果報告

▼例月出納検査の結果報告

▼委員会所管事務調査の報告

・総務文教常任委員会

・産業厚生常任委員会

・広報広聴常任委員会

## その他

### ◎定例会12月会議

▼定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結

▼消防指令業務に係る事務の委託に係る協議

## 発議案等

### ◎定例会10月会議

▼議員の派遣承認

### ◎定例会12月会議

▼議員の派遣承認

## 意見書

### ◎定例会12月会議

▼带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種を求める意見書

▼インボイス制度導入の延期を求める意見書

## 編集後記

令和3年10月、日本の人口1億2550万人、前年比64万人の減少。人口増加時代、日本の高度経済成長期には、多くの人々が都会に流れ、一極集中社会となり、地方は徐々に過疎化が進み、地域格差が生まれ、やがて現在に至る。

このまま少子化が進めば、若者が少なく、高齢者が多い社会構造が続き、様々な問題が発生するであろう。地方でできる対策には限りがあるので、国は今まで以上の出生率を上げる取組が必要であるが、どんな手を打ったとしても、今すぐ急激に上昇するとは考えにくい。出生率が緩やかに上昇し、やがて人口減少が収まり、横ばいになる時代を目指しつつ、当面は人口減少を前提に社会構成を考え、地方分散の集約型都市構造などを軸とした新しい取組が各地で広がり始めている。

白老町においてもより一層、人口減少の歯止めとなる、若者や子育て世代の移住に力を入れて、就業先の確保や子育ての支援などが重要と考える。

様々な白老の魅力を発信することで、多くの観光客呼び込み、地域経済が潤うことで、行政サービスの充実などに繋がり、各世代が豊かに暮らせる街になるのではないかと。

（1月12日 記 久保 一美）

### 表紙紹介 北海道コンサドーレ札幌

#### 「CONSADOLE HOKKAIDO TOURS」サッカー体験教室

11月17日(木)、株式会社コンサドーレが主催のサッカー体験教室が開催され、町内の少年サッカーチーム「Shiraoi Football Club」の選手たちが参加しました。

